

株式会社ダイフク

# 平成27年3月期 決算説明資料

(平成26年4月1日～平成27年3月31日)



平成27年5月14日

- 受注、売上が過去最高を更新、5年連続増収増益
- 一般製造業や流通業向けシステムが海外で拡大
- 北米自動車工場向けが新規、改造ともに好調
- アジア各国の半導体・液晶向け需要が旺盛
- ダイフク単体が収益面で寄与
- コンテック、北米やアジアの自動車・半導体・液晶工場向けも増益
- 受注・売上増大に伴い、中期経営計画を修正

# 平成27年3月期業績(連結)

DAIFUKU

2

(単位: 億円)

	平成26年3月期	平成27年3月期	対前年同期比
受注高	2,768.3	<b>3,055.6</b>	+10.4%
売上高	2,418.1	<b>2,672.8</b>	+10.5%
営業利益	125.5	<b>148.8</b>	+18.5%
経常利益	131.9	<b>157.8</b>	+19.6%
当期純利益	77.4	<b>98.1</b>	+26.7%
包括利益	177.5	<b>135.9</b>	▲23.4%
1株当たり 当期純利益(円)	69.96	<b>88.59</b>	

(単位: 億円)

	受注高 (外部顧客への受注高)		売上高 (外部顧客への売上高)		セグメント利益 (当期純利益)	
	平成26/3期	平成27/3期	平成26/3期	平成27/3期	平成26/3期	平成27/3期
ダイフク	1,173.5	<b>1,370.1</b>	1,102.5	<b>1,150.6</b>	57.6	<b>70.4</b>
コンテック	148.2	<b>153.7</b>	133.7	<b>146.3</b>	7.2	<b>8.4</b>
DWHC※	751.7	<b>757.2</b>	527.4	<b>765.4</b>	16.8	<b>15.5</b>
その他	694.7	<b>774.5</b>	641.4	<b>646.1</b>	29.7	<b>41.2</b>
連結調整等	-	-	13.0	<b>▲35.7</b>	<b>▲34.0</b>	<b>▲37.5</b>
合計 (調整後)	2,768.3	<b>3,055.6</b>	2,418.1	<b>2,672.8</b>	77.4	<b>98.1</b>

※ **DWHC** = **Daifuku Webb Holding Company**

(平成27年1月、社名を Daifuku North America Holding Company に変更)

# 連結貸借対照表

DAIFUKU

4

(単位: 億円)

	平成25年 3月期	平成26年 3月期	平成27年 3月期
<b>流動資産</b>	1,398.3	1,707.8	<b>1,850.4</b>
現金及び預金	337.3	521.3	<b>542.0</b>
売上債権	819.6	895.5	<b>960.5</b>
棚卸資産	176.0	203.8	<b>245.3</b>
その他	65.2	87.1	<b>102.4</b>
<b>固定資産</b>	670.4	787.4	<b>859.7</b>
有形固定資産	312.9	340.7	<b>346.7</b>
無形固定資産	90.3	148.5	<b>190.4</b>
のれん	57.6	101.3	<b>129.0</b>
その他	32.6	47.1	<b>61.4</b>
投資その他の資産	267.1	298.1	<b>322.5</b>
<b>資産合計</b>	2,068.7	2,495.3	<b>2,710.1</b>

	平成25年 3月期	平成26年 3月期	平成27年 3月期
<b>流動負債</b>	939.9	837.1	<b>938.5</b>
仕入債務	365.5	468.8	<b>473.9</b>
短期借入金・社債	342.2	70.1	<b>129.0</b>
その他	232.2	298.1	<b>335.5</b>
<b>固定負債</b>	271.9	661.2	<b>656.3</b>
長期借入金・社債	191.6	511.2	<b>476.4</b>
その他	80.2	150.0	<b>179.9</b>
<b>負債合計</b>	1,211.9	1,498.4	<b>1,594.9</b>
株主資本	844.8	906.5	<b>984.6</b>
その他の包括利益累計額	▲9.4	61.8	<b>93.2</b>
少数株主持分	21.4	28.4	<b>37.2</b>
<b>純資産合計</b>	856.8	996.9	<b>1,115.2</b>
<b>負債純資産合計</b>	2,068.7	2,495.3	<b>2,710.1</b>

# 連結キャッシュ・フロー計算書

DAIFUKU

5

(単位: 億円)

	平成26年3月期	平成27年3月期	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	204.4	<b>64.2</b>	▲140.2
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲73.7	<b>▲59.7</b>	+13.9
フリー・キャッシュ・フロー	130.7	<b>4.4</b>	▲126.2
財務活動によるキャッシュ・フロー	10.4	<b>▲5.0</b>	▲15.5
現金及び現金同等物に係る 換算差額	32.0	<b>21.7</b>	▲10.3
現金及び現金同等物の増減額	173.2	<b>21.0</b>	▲152.1
現金及び現金同等物の期首残高	337.2	<b>518.5</b>	+181.2
連結の範囲の変更に伴う現金 及び現金同等物の増減額	8.0	<b>1.1</b>	▲6.8
現金及び現金同等物の期末残高	518.5	<b>540.8</b>	+22.2

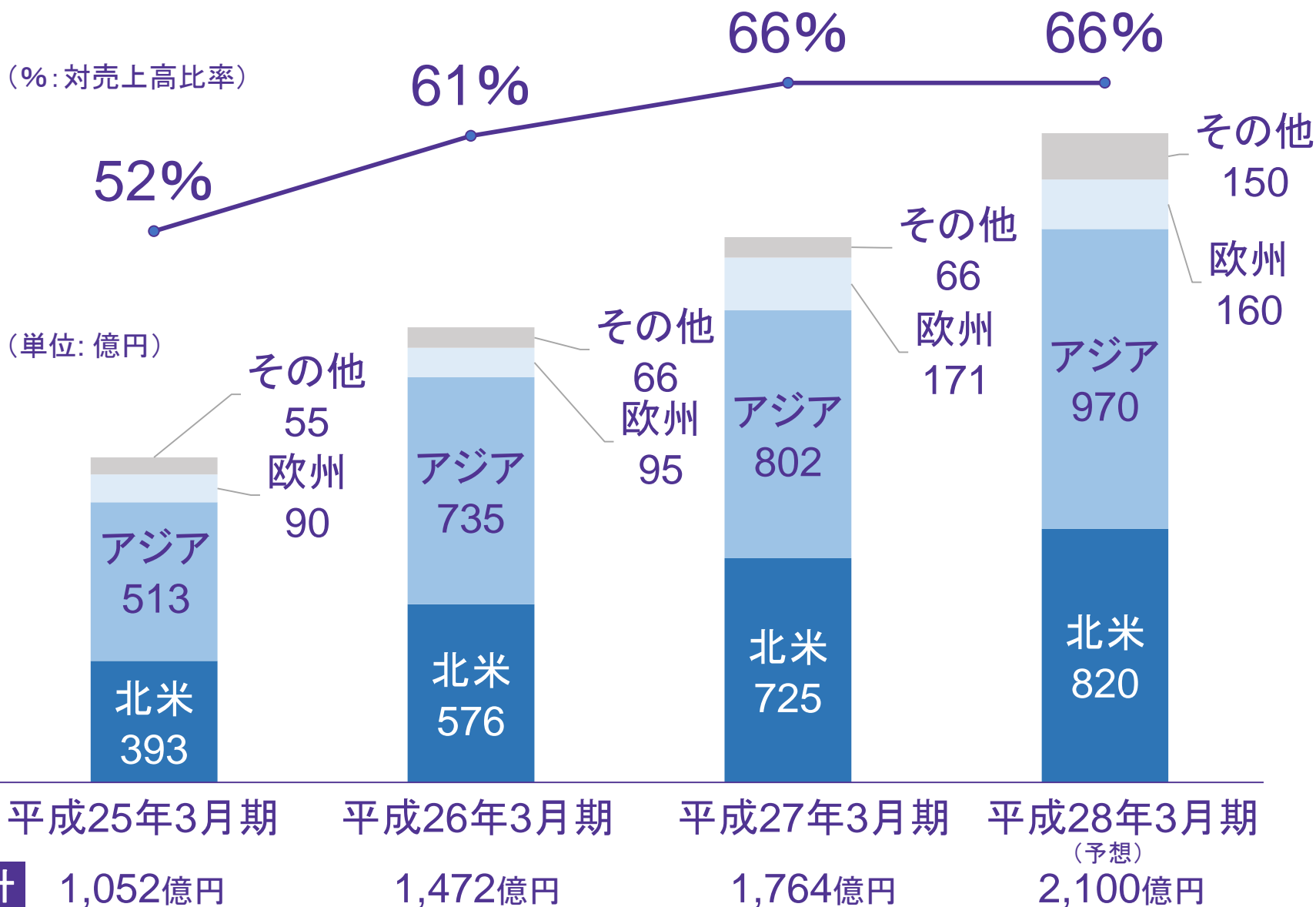
# 連結業種別受注高・売上高

DAIFUKU

6

(単位: 億円)

業種	受注高				売上高			
	平成26年3月期		平成27年3月期		平成26年3月期		平成27年3月期	
	受注高	構成比(%)	受注高	構成比(%)	売上高	構成比(%)	売上高	構成比(%)
自動車および 自動車部品	626.4	22.6%	<b>653.9</b>	<b>21.4%</b>	589.4	24.4%	<b>613.0</b>	<b>22.9%</b>
エレクトロニクス	642.5	23.2%	<b>798.2</b>	<b>26.1%</b>	593.6	24.5%	<b>647.4</b>	<b>24.2%</b>
商業および 小売業	632.8	22.9%	<b>617.7</b>	<b>20.2%</b>	459.4	19.0%	<b>599.2</b>	<b>22.4%</b>
運輸・倉庫	124.5	4.5%	<b>173.3</b>	<b>5.7%</b>	84.6	3.5%	<b>117.0</b>	<b>4.4%</b>
機械	68.9	2.5%	<b>87.4</b>	<b>2.9%</b>	70.1	2.9%	<b>62.4</b>	<b>2.3%</b>
化学・薬品	123.4	4.5%	<b>195.7</b>	<b>6.4%</b>	108.4	4.5%	<b>126.8</b>	<b>4.7%</b>
食品	100.1	3.6%	<b>86.8</b>	<b>2.8%</b>	80.2	3.3%	<b>93.9</b>	<b>3.5%</b>
鉄鋼・非鉄金属	37.5	1.4%	<b>42.7</b>	<b>1.4%</b>	37.3	1.5%	<b>42.6</b>	<b>1.6%</b>
精密機器・ 印刷・事務機	36.0	1.3%	<b>35.3</b>	<b>1.2%</b>	36.2	1.5%	<b>37.0</b>	<b>1.4%</b>
空港	253.9	9.2%	<b>253.2</b>	<b>8.3%</b>	205.7	8.5%	<b>187.3</b>	<b>7.0%</b>
その他	122.3	4.3%	<b>111.4</b>	<b>3.6%</b>	153.2	6.4%	<b>146.2</b>	<b>5.6%</b>
合計	2,768.3	100.0%	<b>3,055.6</b>	<b>100.0%</b>	2,418.1	100.0%	<b>2,672.8</b>	<b>100.0%</b>





# 海外地域別売上高

DAIFUKU

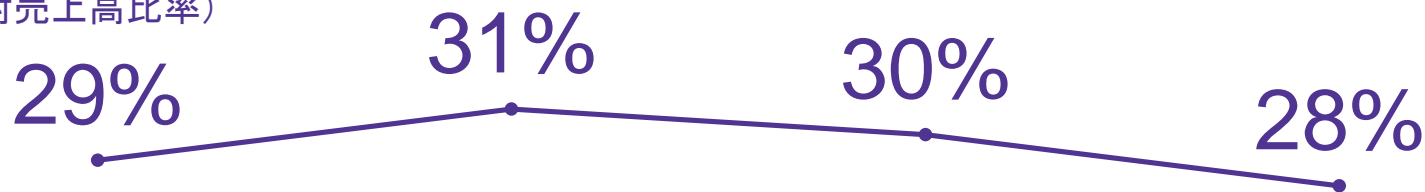
8

(単位: 億円)

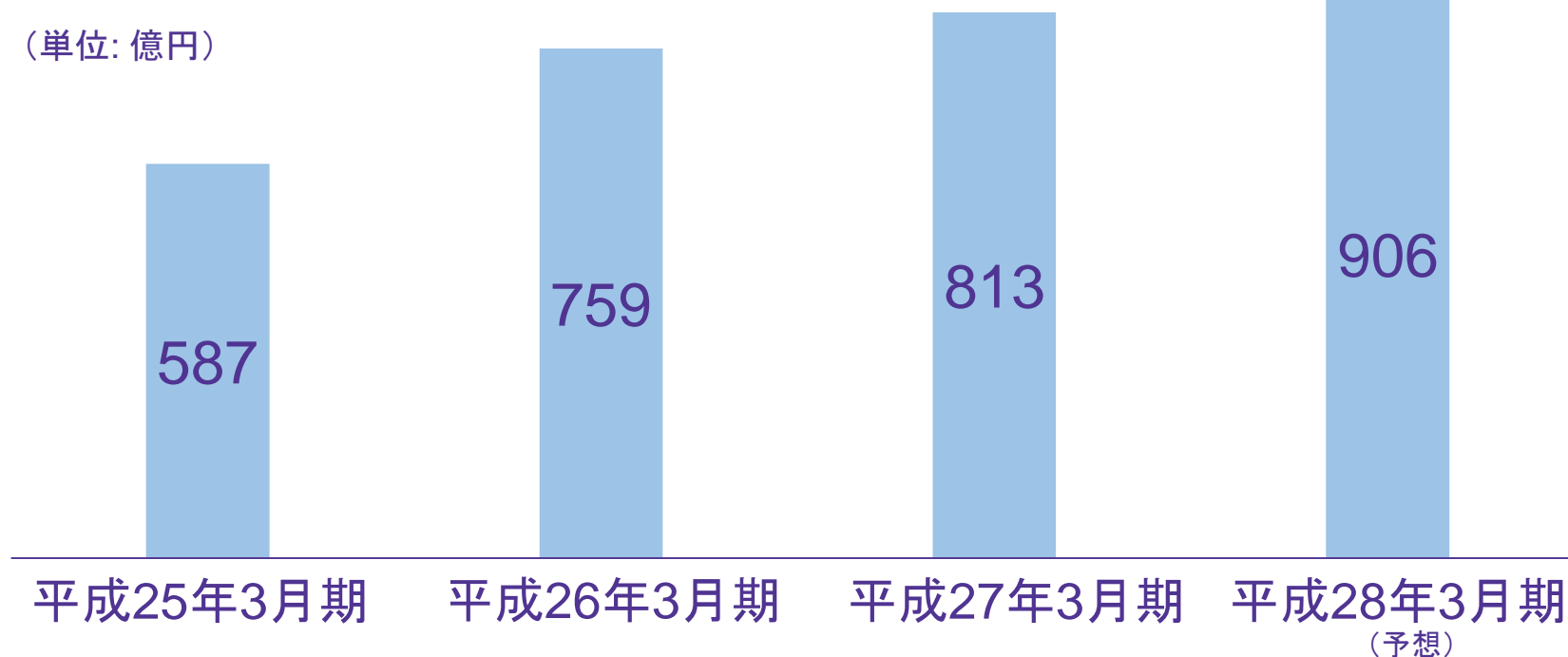
地区	国名	平成25年3月期		平成26年3月期		平成27年3月期	
		売上高	構成比(%)	売上高	構成比(%)	売上高	構成比(%)
北米		393.3	37.4	575.7	39.2	725.1	41.1
アジア		513.6	48.7	735.1	49.9	802.0	45.5
	韓国	141.4	13.4	222.8	15.1	305.3	17.3
	中国	109.0	10.4	283.6	19.3	305.0	17.3
	台湾	146.8	13.9	77.1	5.2	69.4	3.9
	タイ	53.1	5.0	74.6	5.1	54.8	3.1
	その他	63.3	6.0	77.0	5.2	67.3	3.9
欧州		90.4	8.6	95.4	6.4	170.9	9.6
中南米		38.8	3.7	48.4	3.3	44.8	2.5
その他		16.7	1.6	18.0	1.2	21.2	1.3
合計		1,052.8	100.0	1,472.6	100.0	1,764.1	100.0

※サービス売上高：納入したシステム・製品を対象にした、保守・メンテナンス、リニューアル、改造工事などによる売上高

(%: 対売上高比率)

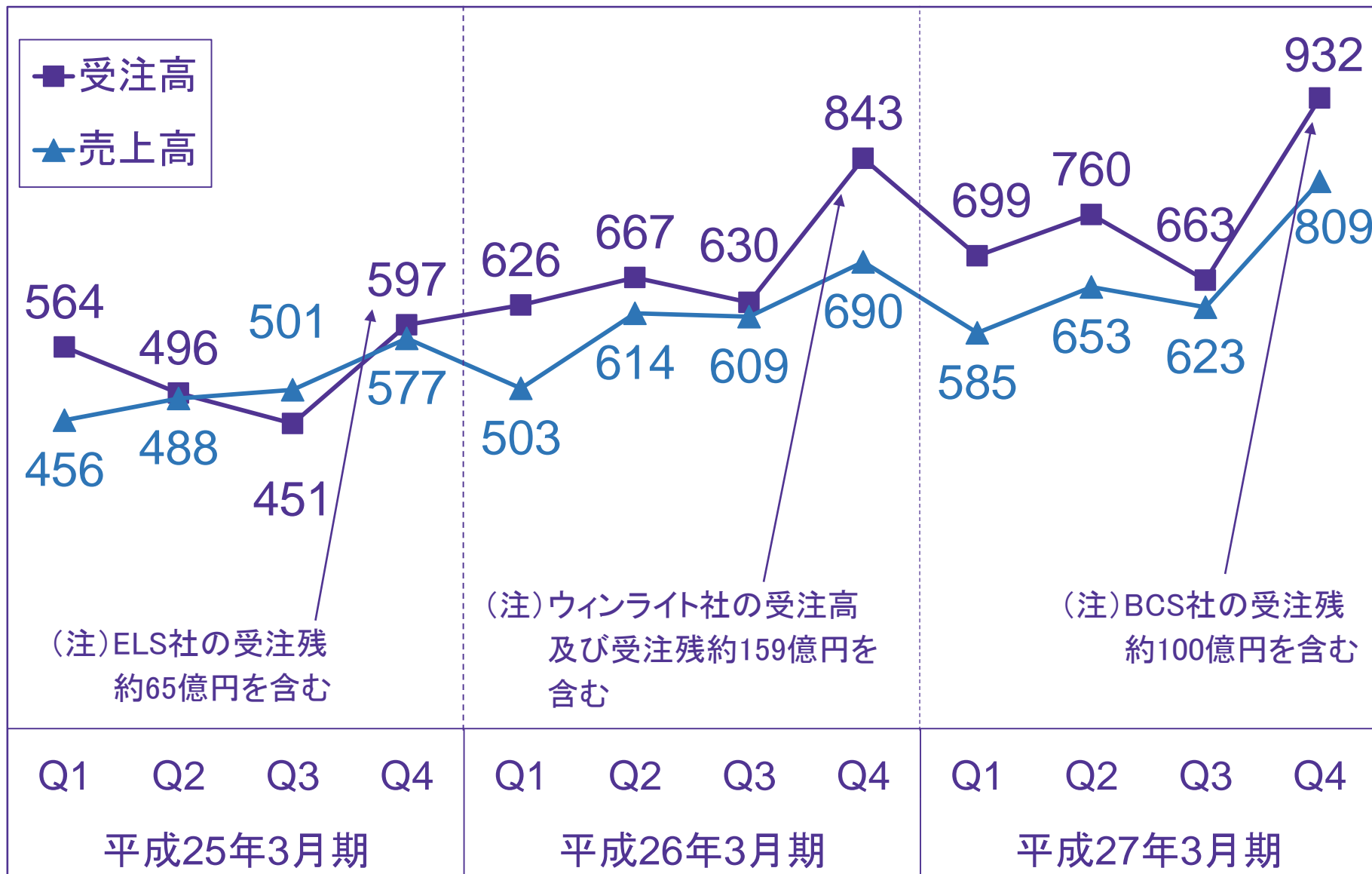


(単位: 億円)



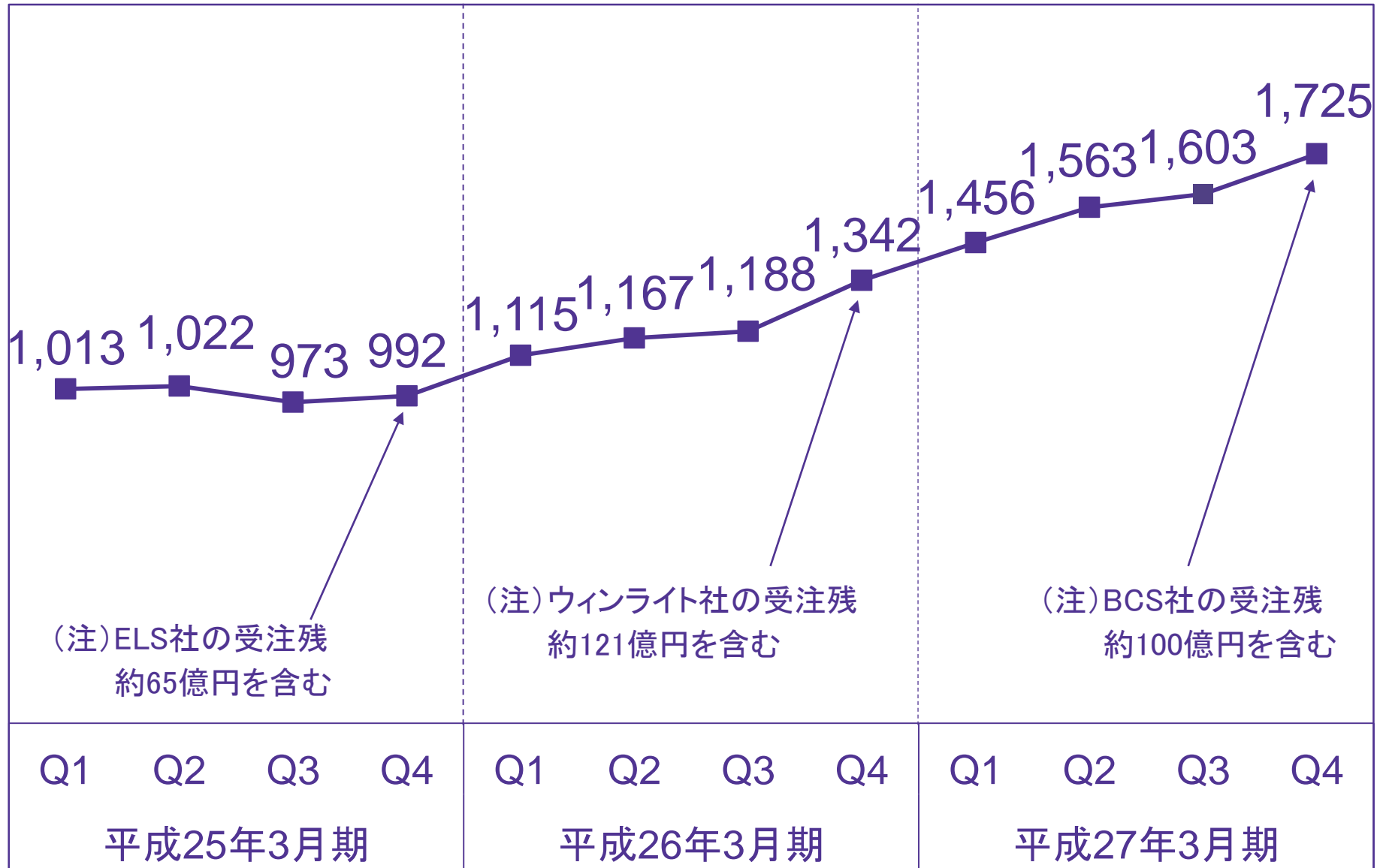
# 受注高、売上高の四半期ごとの推移

(単位: 億円)



# 受注残の推移

(単位: 億円)



# 平成28年3月期業績予想（連結）

DAIFUKU

12

（単位：億円）

	平成27年 3月期2Q	平成28年 3月期2Q	対前年 同期比	平成27年 3月期通期	平成28年 3月期通期	対前年 同期比
受注高	1,460.0	<b>2,000</b>	+37.0%	3,055.6	<b>3,400</b>	+11.3%
売上高	1,239.2	<b>1,500</b>	+21.0%	2,672.8	<b>3,200</b>	+19.7%
営業利益	56.4	<b>70</b>	+24.1%	148.8	<b>180</b>	+20.9%
経常利益	61.4	<b>70</b>	+13.8%	157.8	<b>182</b>	+15.3%
当期純利益※	42.1	<b>50</b>	+18.7%	98.1	<b>120</b>	+22.3%

※ 会計基準等の改正に伴い、平成28年3月期より「親会社株主に帰属する当期純利益」となります。

# 有利子負債、固定費、従業員の状況(連結)

DAIFUKU

13

(単位: 億円)

		平成25年3月期	平成26年3月期	平成27年3月期
	短期	342	70	129
	長期	192	511	476
	有利子負債合計	534	581	605
	D/Eレシオ	0.64	0.60	0.56

	固定費	667	806	832
	内、人件費	452	505	592
	期末従業員数 (内、海外現地法人)	6,678人 (3,742)	7,349人 (4,379)	7,746人 (4,760)

D/Eレシオ = 有利子負債 ÷ 自己資本

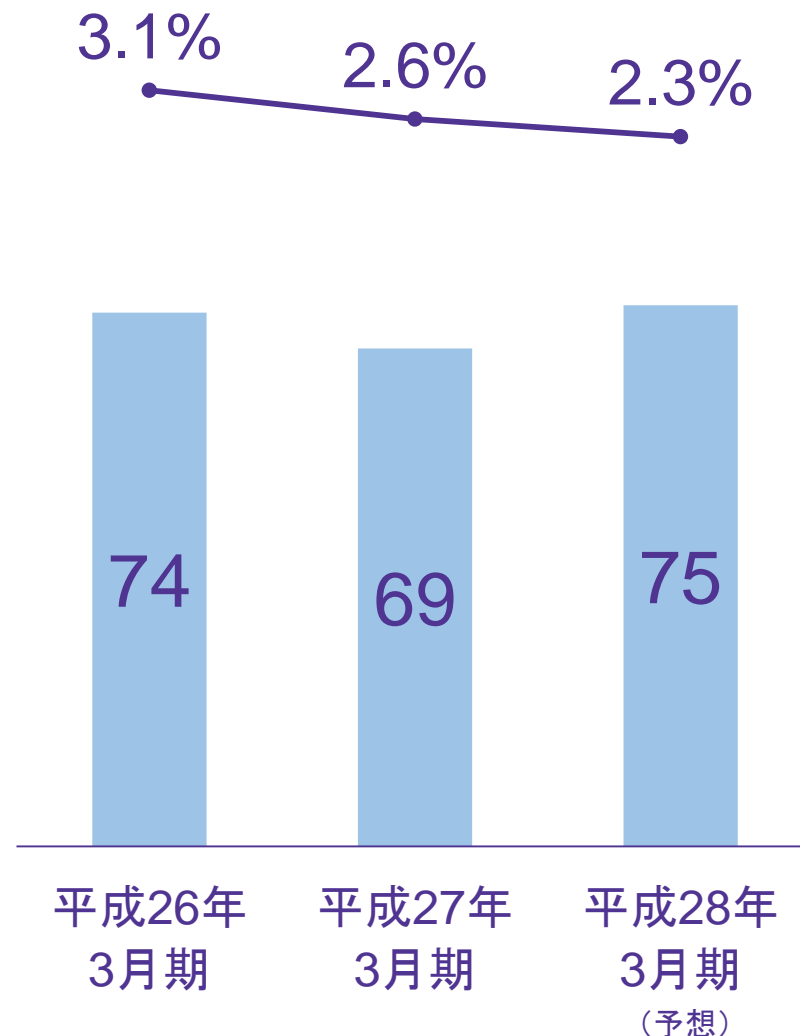
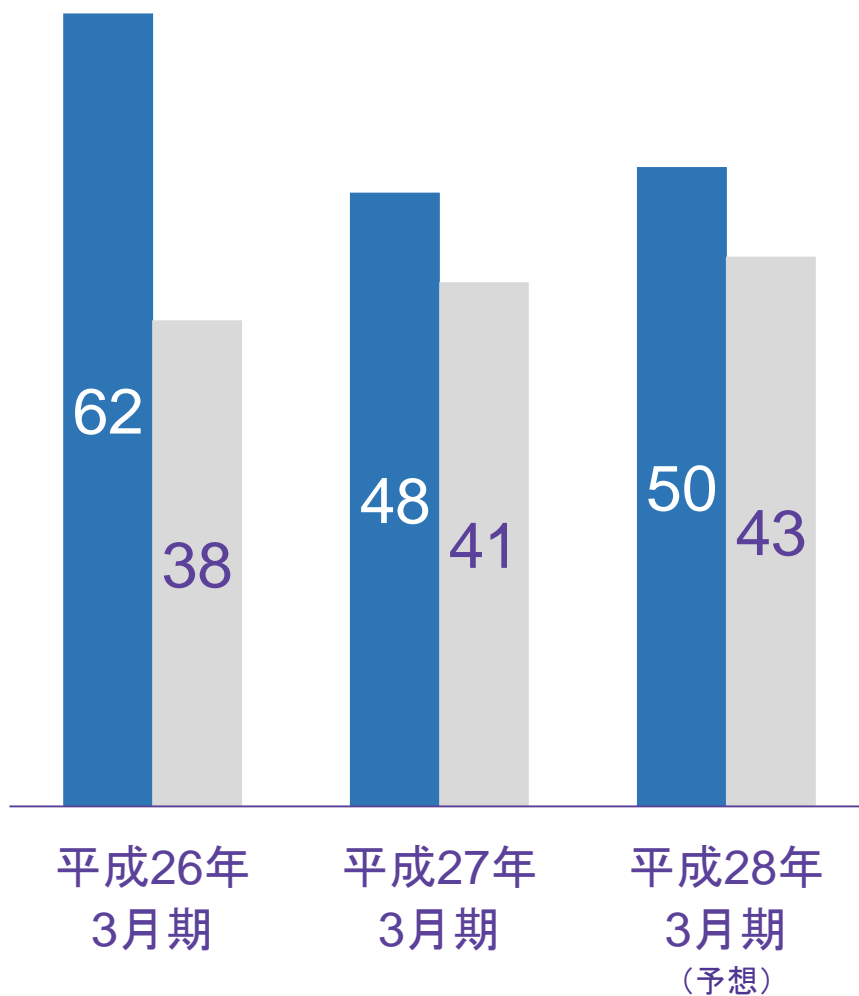
# 設備投資、減価償却費、研究開発費の状況(連結)

(単位: 億円)

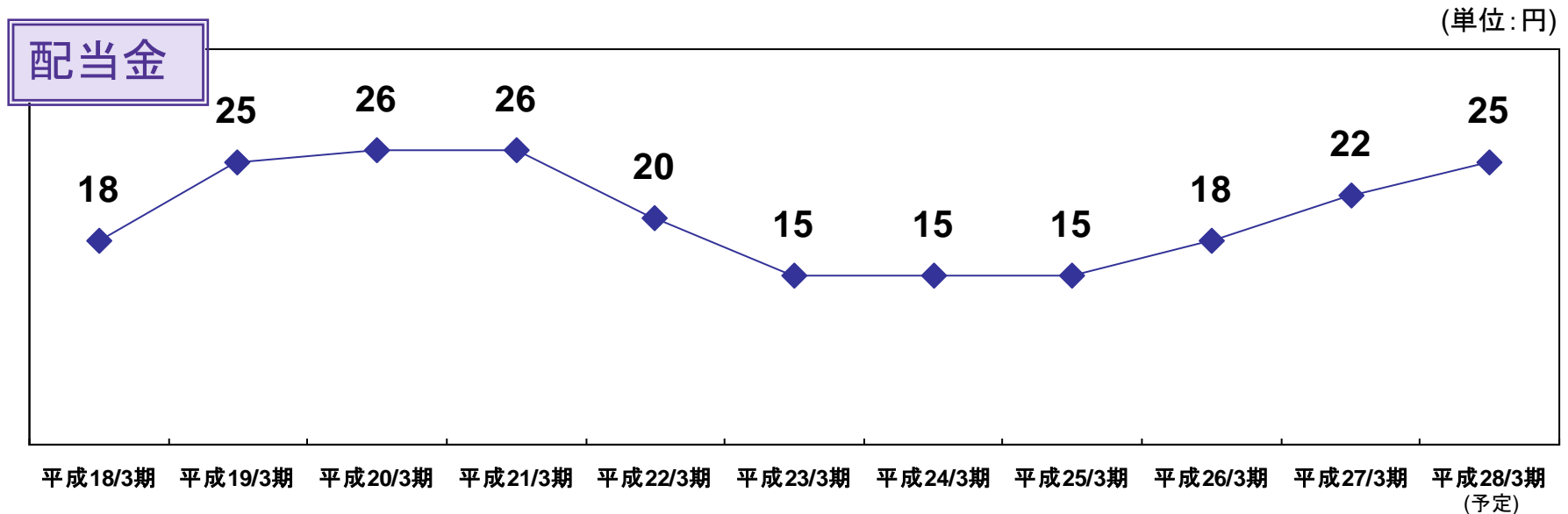
(単位: 億円)

■ 設備投資 ■ 減価償却費

■ 研究開発費 ● 対売上高比率



1. 平成27年3月期：中間配当**7円**、期末配当**15円**  
年間で**22円配当**（4円増配し、配当性向：**24.8%**）
2. 平成28年3月期：中間配当**10円**、期末配当**15円**  
年間で**25円配当**の予定
3. 中期経営計画の配当方針  
一株当たり配当金の持続的成長  
中長期的配当性向**30%**を目指す





---

---

# 中期経営計画「Value Innovation 2017」 の進捗と最終年度目標の見直し

---

---

	平成29年3月期目標 (中計策定時)		平成29年3月期目標 (平成27年5月修正後)
売上高	2,800億円	➔	3,400億円
営業利益率(額)	7%		210億円
ROE	—		10%
配当性向	30%		30%
海外売上高比率	60%		70%
サービス売上高比率	25%超		25%超

- 売上高 : 一年前倒しで達成見込み。最終年度目標を引き上げ
- 営業利益 : 売上拡大に伴い、金額で最高益を狙う  
(過去最高益は平成20年3月期206億円)
- ROE : 企業価値増大の指標として新たに経営目標に追加

## 修正要因

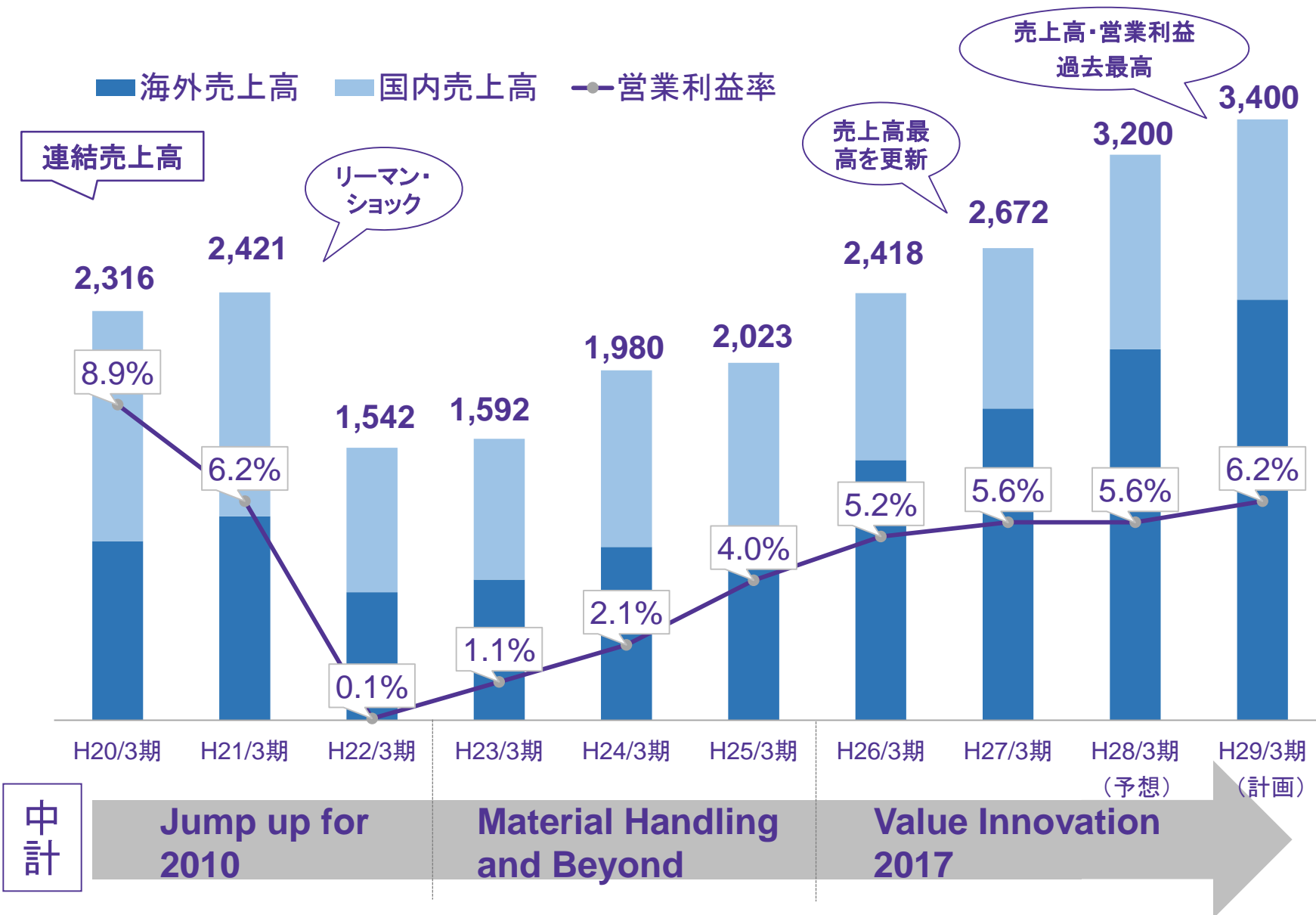
事業環境要因	自社要因
<ul style="list-style-type: none"><li>・アベノミクス効果の波及</li><li>・円安(1ドル80円⇒119円)</li><li>・主要先進国の経済回復基調</li><li>・アジアなど新興国の消費者向け製造、流通の活発化</li><li>・世界的なeコマース拡大</li><li>・IoTによる新しいシステムの創生、電子デバイスの需要増、高精細FPDの需要増加</li><li>・市場での競争のグローバル化</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・積極的M&amp;Aで海外売上高増大(円安と相乗効果)</li><li>・構造改革によるコストダウンの進展</li><li>・サービスビジネスの持続的成長</li></ul>

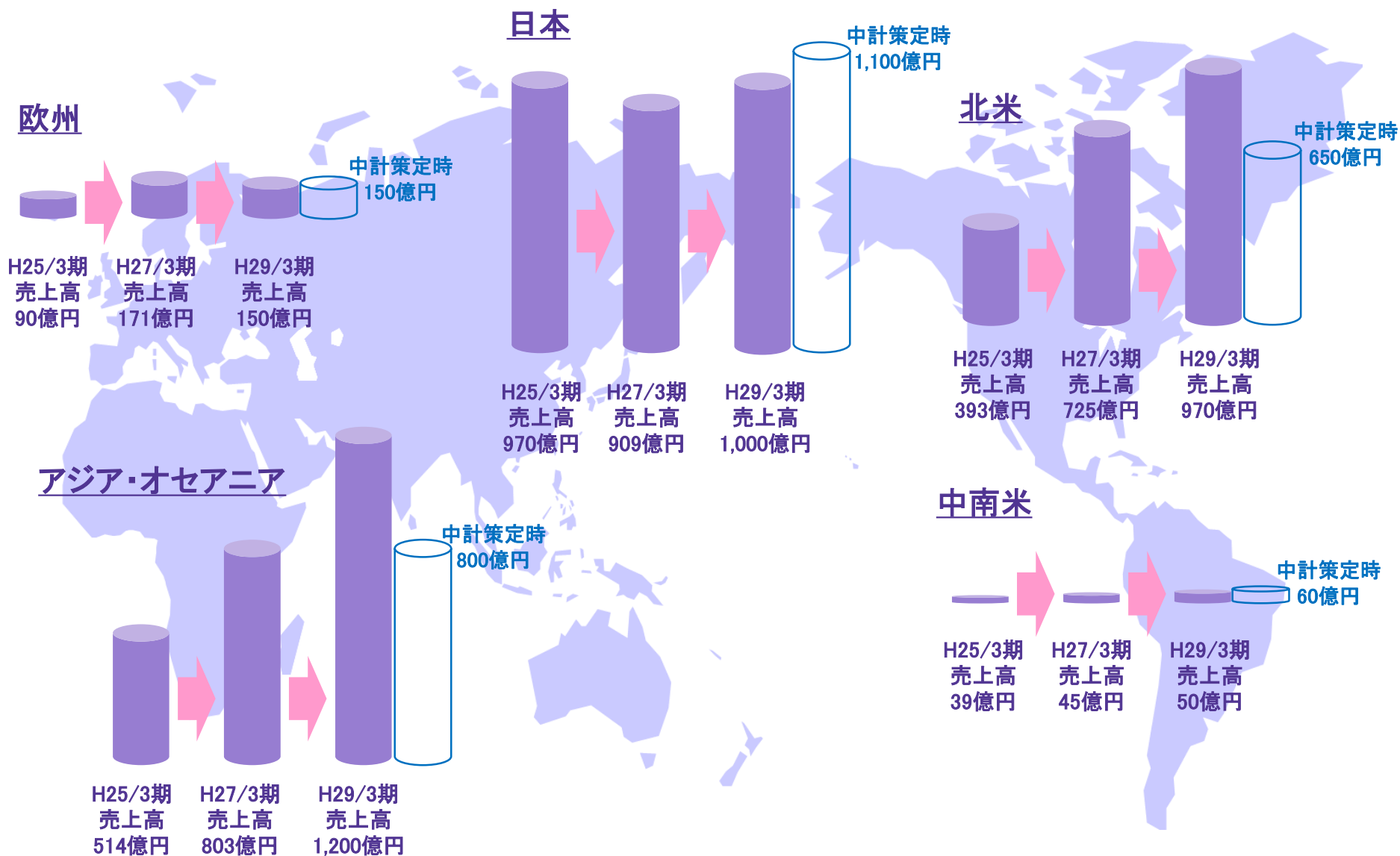
## 課題

収益力強化	コーポレートガバナンスの強化
<ul style="list-style-type: none"><li>・新製品・新事業・新市場の開発・開拓</li><li>・海外子会社の収益力強化</li><li>・グローバルな構造改革の進展</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・投資家視点の経営</li><li>・ダイバーシティの推進</li></ul>

# 中期経営計画の推移

(単位: 億円)

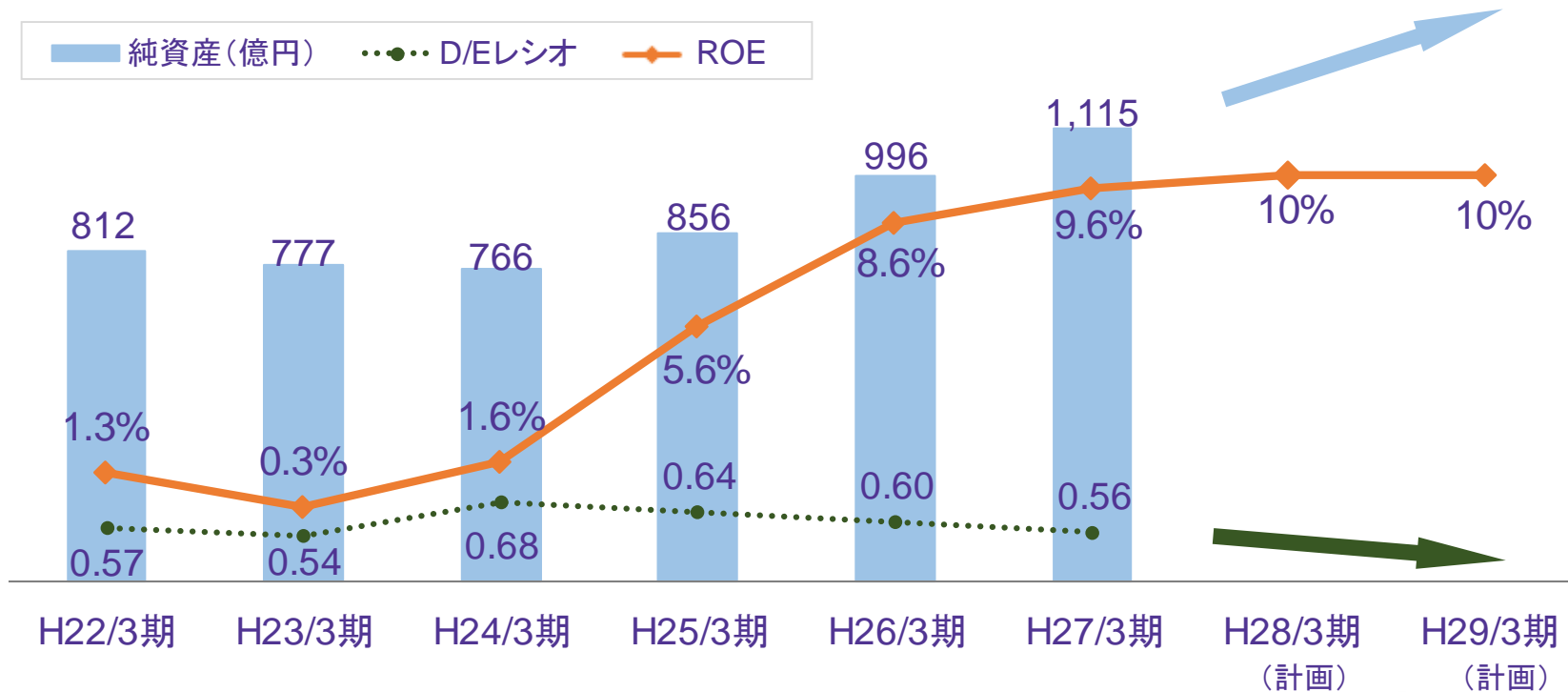




■ 格付A維持・向上 ← 財務体質の強化：CB転換による資本増強

ROE 10%、D/Eレシオ 0.5以下

■ JPX日経400入りを目指す ← ROE 3年平均、営業利益3年累積、時価総額の向上



※ D/Eレシオ：有利子負債÷自己資本

※ ROE：当期純利益÷自己資本（期首・期末平均）×100



# DAIFUKU

Always an Edge Ahead

## 将来の見通しに関する注意事項

本資料に記載されている将来の業績に関する目標、信念、計画等は、過去の事実ではなく、最新の情報から判断した経営陣の想定や信念に基づく事業見通しであり、潜在的なリスクや不確定要素を含んでいます。実際の業績は、さまざまな重要要素により、記載された見通しと大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える重要要素としては、1) 当社グループの経営環境における消費者動向および経済情勢、2) 米ドルその他の通貨建ての売上・資産・負債に対する円為替レートの影響、3) コスト上昇や販売の抑制につながる安全その他に関する法令等の規制強化、4) 災害・戦争・テロ・ストライキ・疾病等の影響などが含まれます。なお、当社グループの業績に影響を与える要素は、これらに限定されるものではありません。